

アスファルト製カラーハンプ

ASハンプ

ASハンプは車道に設置するアスファルト製凸型路面で、その目的は車両の速度抑制です。歩道がある場合は横断歩道部をハンプにすることで、歩行者のスムーズな横断歩行などを支援することができます。

また、台形ハンプの傾斜のすりつけ部をなめらかな形状にすることで、車両通行時の騒音や振動も抑制することができます。

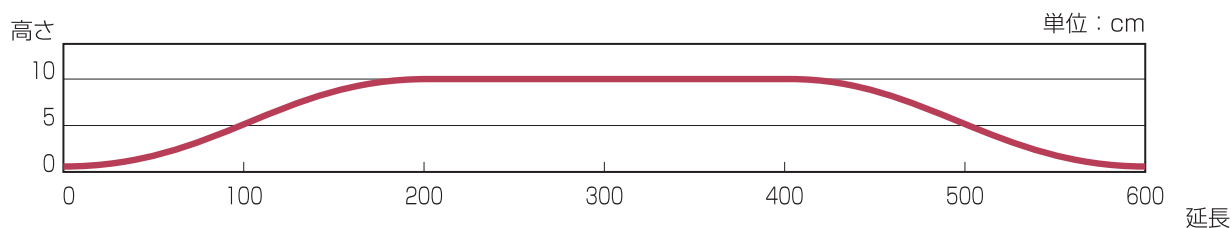


【特長】

- **設置場所の制限なし**
設置する現場での成形となります。寸法調整が可能であり、設置場所に制限がありません。
- **耐久性の向上**
アスファルト舗装と同様の材料のため、乗用車が中心の交通に対しては十分な耐久性を有しています。
- **すべり止め効果**
アスファルト製ですので、通常のすべり止め舗装を施すことも可能です。
- **カラー化対応**
カラー化にも対応可能であり、視認性を向上させることでより効果的な速度抑制効果が期待できます。

形状

車両がハンプを通過する際、形状により大きな騒音や振動が発生することがあります。そのためASハンプの長さは、車両の前輪と後輪が同時にハンプに乗る程度の大きさ、その高さは効果及び安全性がよい10cmで、その傾斜部はなめらかなものとしてサイン曲線にすることが望ましいとされております。



サイン曲線ハンプ (L=6.0m)の縦断形状

参考：改訂 生活道路のゾーン対策マニュアル（一般社団法人 交通工学研究会）

ハンプの施工パターン

ASハンプの施工につきましては、路面の状態により「2層施工」と「3層施工」の2種類に分かれます。発注者との協議を実施の上、効果的な施工方法を選択してください。

既設路面の一部を掘削した施工方法になります。

利用する

2層式ハンプ



既設路面

既設路面全体を5cm掘削した施工方法になります。

利用しない

3層式ハンプ



【参考日施工】 幅4m×延長6m程度 1/2規制（通行止めなし）1箇所／日
又、ハンプ路面表示・カラー塗装等は後施工で半日程度

施工推奨場所

- ゾーン30を指定されているエリア内、特に学校付近の道路
- 生活道路エリアにおいて、抜け道に利用されている道路など
- 単路等の道路区間（一時停止や徐行を促す効果）
- 交差点の入口部
（侵入速度の抑制や注意喚起などによる出会頭事故の削減）
（ハンプの設置数量・設置位置を調整することにより、区間全体での速度抑制を図ることが可能）
- 交差点内全面ハンプ
- 横断歩道部への設置
- ◆ ハンプがあることを事前に知らせるために、ハンプ路面表示や警戒標識などの設置を検討すること。